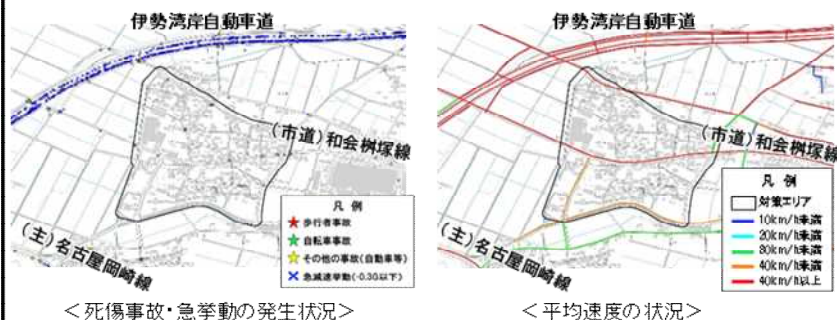


豊田市 和会地区

事故対策の必要性

- 歩車道の分離されていない生活道路(高峰小学校通学路)において、通過交通の速度が高い状況であることに着目。
- 生活道路対策エリアへ登録を申請(H30.11月登録)し、可搬型ハンプの実証実験等を通じて地域住民の理解を得る取り組みを推進。



【出典】死傷事故データ 期間:H21.1~H29.12
ETC2.0プローブデータ 期間:H29.4~H30.3

対策案・計画平面図

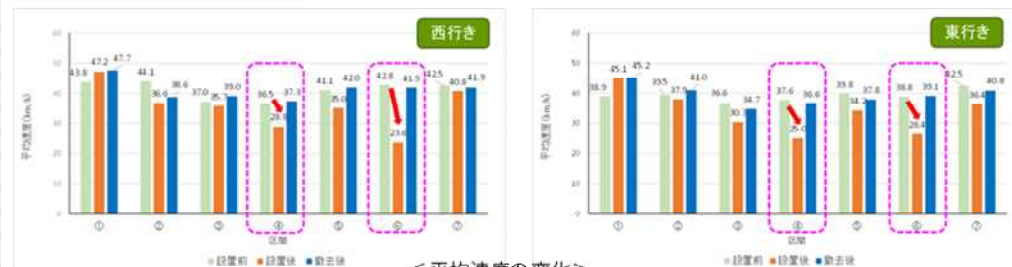
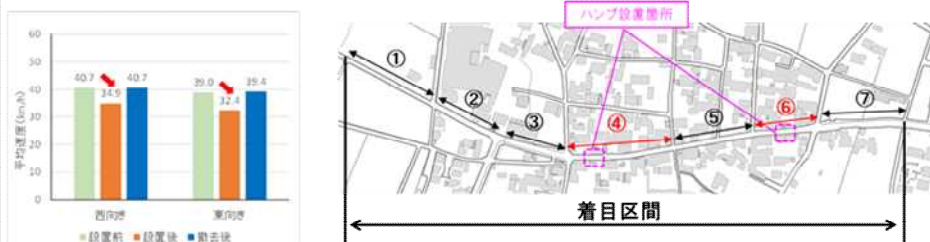
- 市道和会樹塚線の2箇所に可搬型ハンプ(国土交通省貸与)を設置し実証実験。

期間:平成30年11月15日~平成30年12月18日



整備効果

- 設置前、設置後(実証実験中)、撤去後の3期間で状況変化を検証。
- 可搬型ハンプ設置後(実証実験中)は速度低下が顕著であったが、撤去後は回復。
- 一方で、通過交通の割合が低下し、撤去後も効果が継続して発現。



※通過交通 着目区間を通過し、対策エリア外に発着地点を持つ交通
<通過交通の変化>

【出典】ETC2.0プローブデータ
設置前:H29.10.15~H30.01.23
設置後:H30.11.15~H30.12.18
撤去後:H31.01.15~H31.02.14